
寝言は寝て言え。

忍龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

寝言は寝て言え。

【Nコード】

N4145L

【作者名】

忍龍

【あらすじ】

自分に都合の良い夢ばかり見るな、寝言は寝て言え。

ズムッ！

「・・・あぐ・・・っ」

術士が一人、鳩尾を挟り込むように拳を刺し込まれ
空っぽの胃から僅かに胃液を吐いて、冷えた床石に膝をついた
突然の暴拳に、彼らを囲む術者たちも他の者も、ざわりと怯んで息
を呑んだ

「・・・い・・・一体何を・・・ッ」

誰かの声が、暴拳の主に、震える声で問うた

「俺は嫌だと言った筈だ」

「し、しかしっ、

貴方様はこの世を救う唯一の、」

「俺は、嫌だ、と言った筈だ」

「ッ、」

ぎよろり、と顔を向けずに此方を眼球だけで据えたその眼は恐ろしい程に静かに、その怒りを伝えていた

「ここへ無理矢理呼び出される直前、

俺は、嫌だ、と お前達に言った、そうだな？」

「それは・・・しかし、」

「俺の命で お前達の平和を買うつと、そういうことか？」

「そ、そのようなことは・・・」

「そういうことだろう、

俺に死ねと言っているんだろう、違うか」

ごくり、と誰かが固唾を呑んだ

こんな、

こんな筈ではなかった

世界を救うという栄誉に、相手の否やなど無い物だと思っていた

男は、恐ろしい程に冷静で
静かに現実を突きつけ

彼らの高揚とした気分から熱を奪っていく

「俺の命は、少なくとも人一人分の価値がある
俺の命は、誰が贖う？」

何・・・？

「答えろ、俺の命の代償は、誰の命によって支払ってくれるんだ？」

その恐怖は、瞬く間に広まった

英雄の命によって成される筈の平和
では、英雄の命の対価は、何によってなされるのか

「この世を救うのならば、
この世にいる総ての命ある者の、その”命”が代価だ、そうだろう？」

「そんなっ」

「それでは、貴様が世を滅ぼすのと同じではないか！」

「単純な理屈だ、

お前達は、英雄になんとかしてもらった為の代償は、精々衣食住と酒と金

後は名誉と身分と女で賄えると思ったんだろう?」

くつくつと、押し殺したような笑い声がひやりと伝わる

「そんなに自分達にばかり都合が良いわけないくらい、分からなかったのか?

呼び出した事に対する代価は送り返すことだ、しかし、それも出来ないんだろう

出来るなら、既に俺は送り返されているだろうからな」

図星を当てられ、ひやりとまた、背中を冷たいものが伝う

確かにその通りだった、

出来るものなら、こんな事態になってすぐに送り返している

だが、彼の言うとおり、それは出来ない

引き寄せる時は、彼の気配を目印に見つけることができた

しかし、彼は今、此方にいる

もう目印はないのだ

送り返すことは、できない

「さあ、もう一度聞こうか」

お前達の為に死ぬ俺の為に死ぬ奴は、誰だ？

（後書き）

立ち位置の違いですね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4145/>

寝言は寝て言え。

2010年10月17日06時43分発行